

第3回 長安ロダム環境モニタリング委員会 議事概要

1. 日 時：平成25年3月11日（月）14：00～16：00
2. 場 所：ホテル千秋閣(旧自治会館)6F孔雀の間
3. 出席委員：河口 洋一（徳島大学大学院ソシオテクノサイエンス研究部 准教授）
木下 覺 （徳島県植物研究会 会長）
小林 實 （河川・溪流環境アドバイザー）
松田 春菜（徳島県立佐那河内いきものふれあいの里ネイチャーセンター
専門研究員）
森本 康滋（徳島県自然保護協会 会長）
山田 量崇（徳島県立博物館 主任学芸員）（欠席）
山中 亮一（徳島大学大学院ソシオテクノサイエンス研究部
エコシステムデザイン部門 講師）
◎湯城 豊勝（阿南工業高等専門学校 副校長）

(五十音順、◎：委員長)

4. 配付資料：

- 資料1 議事次第
- 資料2 委員会設立趣旨
- 資料3 委員名簿、配席図
- 資料4 委員会規約
- 資料5 長安ロダム改造事業に係る平成24年度モニタリング調査の実施状況及び
評価結果[概要版]
- 資料6 長安ロダム改造事業に係る平成25年度モニタリング実施計画書(案)[概要版]
- 別添資料1 長安ロダム改造事業に係る平成24年度モニタリング調査の実施状況
及び評価結果
- 別添資料2 長安ロダム改造事業に係る平成25年度モニタリング実施計画書（案）
- その他 参考 傍聴される方へのお願い
参考 取材についてのお願い

5. 議 事：

- (1) 長安ロダム改造事業の進捗状況について
- (2) 平成 24 年度のモニタリング調査結果について
- (3) 平成 25 年度のモニタリング実施計画（案）について

6. 議事概要：

第 3 回長安ロダム環境モニタリング委員会において、平成 24 年度モニタリング調査の実施状況及び評価結果、平成 25 年度モニタリング実施計画書（案）について審議を行った。

- (1) 平成 24 年度モニタリング調査の実施状況及び評価結果について

【騒音・震動】

特になし。

【水環境】

・濁水の目視での監視については、写真だけでは光の当たり具合等で見え方が変わるので、水色帳を用いた現場での判断結果も合わせて記録しておいた方がよい。また、写真は経時的な比較が可能なように、撮影位置と方向を統一して同一箇所継続的に撮影した方がよい。

・水質は良いデータを取っていただいていると思う。貯水池内のクロロフィル a 濃度が高い時期もあり、貯水池内の有機態の栄養塩の濃度が気になる。影響が顕著な季節だけでも良いので有機態を把握することを目的として、溶存態の窒素・リンを調査項目として加え、ダム湖の水質特性を把握した方がよい。

・河川生態系にとって、水温は重要な環境要因なので、ダム湖内以外にも、流入水温・下流水温、下流河川など何地点か細かく計測した方がよい。

・魚類等への影響面から、水質の指標となる魚類などについて、委員の指導を受けて水質や魚類の調査を検討すると良い。

【植物】

・ナンゴクウラシマソウについて、地下部は生きていると思われるので、できれば確認するとよい。

いくつかの個体について試験的に地上部が枯れた状態で地下の球茎が生存しているか確認するとよい。

・ラン科 B について、よく調査なされている。移植手法も難しい種類なので、移植は慎重に実施してほしい。また、貴重種保護の観点から Web 等で情報公開する際には盗掘等のないように公開情報には十分配慮してほしい。

【猛禽類】

- ・オオタカについては、今年は、例年に比べて飛来が遅かった。視覚を中心に利用して行動しているので、工事の際には、注意を払ってほしい。
- ・工事用道路の工事にあたっては、騒音について配慮が必要である。特に繁殖期は注意が必要。

(2) 平成 25 年度モニタリング実施計画書（案）について

【水環境】

- ・水質調査項目の追加を検討してほしい。

【植物】

- ・ラン科の種は開花時期が種によって異なる場合がある。モニタリング調査はタイミングが大事なので、適期に実施できるような対応をお願いしたい。

【猛禽類】

- ・工事期間が長期に亘るので、猛禽類の繁殖への影響が出てくる可能性も考えられる。工事の影響の有無の確認を検討してほしい。

(3) その他

- ・広報活動については、環境保全のよい取り組みを行っているので積極的に発信するとよい。

以上の議事を踏まえ、平成 24 年度モニタリング調査結果および平成 25 年度モニタリング実施計画は了承された。

(以上)